

平成21年度

各会計決算状況

秋田県 潟上市

1. 一般会計

平成21年度一般会計当初予算額は123億5,400万円で、その後補正増額され最終予算額は148億9,759万1千円となりました。

歳入決算額は146億8,362万2千円、歳出決算額は141億4,139万6千円、歳入歳出差引額は5億4,222万6千円で、平成22年度への繰越財源8,257万9千円を差し引いた実質収支は4億5,964万7千円となりました。

歳入の主なものとしては、市税が25億1,348万4千円で歳入全体の17.1%、地方交付税が60億3,154万4千円で歳入全体の41.1%、国庫支出金が23億1,659万9千円で歳入全体の15.8%、県支出金が7億2,178万5千円で歳入全体の4.9%、市債が12億5,730万円で歳入全体の8.6%となりました。

国庫支出金の主なものは、経済対策関係の各種補助金で11億1,020万3千円、生活保護費関係で5億9,904万6千円、障害者福祉等の社会福祉関係で2億3,220万4千円、児童福祉関係で1億8,042万2千円、地域活力基盤創造交付金が1億1,152万円となりました。また、生活保護費関係で5,969万8千円増えたことや経済対策事業補助金が11億円あまりあったことにより、前年度比12億7,843万5千円(123.1%)の増となりました。

県支出金の主なものは、障害者福祉や福祉医療給付費などの社会福祉関係で3億8,234万7千円、児童福祉関係で1億2,531万1千円です。また、緊急雇用創出特別基金事業費補助金3,252万3千円や新型インフルエンザ対策事業補助金886万3千円などもありましたが、合併市町村特例交付金1億2,000万円がなくなったことにより、前年度比5,040万6千円(6.5%)の減となりました。

市債は、市道整備に伴う道路改良事業債9,850万円、集会所建設事業債5,370万円、臨時財政対策債6億9,680万円、公的資金借換債3億7,200万円などで、前年度比7億1,650万円(132.5%)の増となりました。

歳出の主なものでは、人件費が24億5,445万7千円、扶助費が21億2,202万3千円、公債費が20億9,233万9千円で、これら義務的経費の合計で66億6,881万9千円となりました。普通建設事業費は11億2,647万4千円で、主なものは、地域活性化・生活対策臨時交付金事業2億8,471万2千円、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業3億7,275万2千円、道路新設改良事業2億3,732万円、集会所建設事業が5,662万3千円、幼保一体施設整備事業1,952万7千円となり、前年度比では5億3,751万5千円(91.3%)の増となりました。

(1) 平成21年度一般会計の決算状況

1. 総括

(単位：千円)

区 分	平成21年度	平成20年度	増減額
予 算 現 額	14,897,591	13,492,136	1,405,455
歳 入 決 算 額	14,683,622	12,744,547	1,939,075
歳 出 決 算 額	14,141,396	12,048,949	2,092,447
歳入歳出差引額	542,226	695,598	△ 153,372
実 質 収 支 額	459,647	650,515	△ 190,868
単年度収支額	△ 190,868	201,088	△ 391,956

2. 歳入

歳入総額は 14,683,622千円ですが、その主なものは次のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成21年度	平成20年度	増 減 額	増 減 率
市 税	2,513,484	2,687,409	△ 173,925	△ 6.5
地 方 交 付 税	6,031,544	5,762,040	269,504	4.7
国 庫 支 出 金	2,316,599	1,038,163	1,278,436	123.1
県 支 出 金	721,785	772,192	△ 50,407	△ 6.5
市 債	1,257,300	540,800	716,500	132.5
歳 入 計	14,683,622	12,744,547	1,939,075	15.2

3. 歳出

歳出総額は 14,141,396千円ですが、その主なものは次のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成21年度	平成20年度	増 減 額	増 減 率
人 件 費	2,454,457	2,411,853	42,604	1.8
扶 助 費	2,122,023	2,015,191	106,832	5.3
公 債 費	2,092,339	1,744,880	347,459	19.9
投 資 的 経 費	1,143,706	590,186	553,520	93.8
歳 出 計	14,141,396	12,048,949	2,092,447	17.4

これらの構成比は、人件費 17.4%、扶助費 15.0%、公債費 14.8%、投資的経費 8.0%となっています。

(2) 市税の収納状況

(単位：千円、%)

区 分		現年度分	滞納繰越分	計
調 定 額	2 1 年 度	2,536,712	274,447	2,811,159
	2 0 年 度	2,704,267	264,092	2,968,359
	増 減	△ 167,555	10,355	△ 157,200
収 入 済 額	2 1 年 度	2,462,120	51,363	2,513,483
	2 0 年 度	2,630,402	57,007	2,687,409
	増 減	△ 168,282	△ 5,644	△ 173,926
収 入 率	2 1 年 度	97.1	18.7	89.4
	2 0 年 度	97.3	21.6	90.5
	増 減	△ 0.2	△ 2.9	△ 1.2

経済情勢の低迷に伴う厳しい雇用環境、自営業者の経営不振・企業倒産等が引き続いており、依然として市税の収納は厳しい状況にあります。電話催告・自動車のタイヤロック・債権差押・動産差押・不動産差押等の強化を行っておりますが、現年度分の収納率は前年度に比較し0.2%の減となっております。滞納繰越分については納付指導による分割納付の増加及び自動車差押・債権差押・動産差押・不動産差押等を実施しましたが2.9%の減となっております。全体の収入率は前年度に比較し1.2%の減となっております。尚、今年度の不納欠損処理は5,143,083円で滞納処分執行停止額は6,120,900円でありました。

また、差押物件のインターネット公売は88件で1,218,842円の実績となりました。今後も市税の収入確保には一層の努力をしております。

これからも納税の秩序を維持し税の公平を貫くため、財産調査と滞納処分を強化するとともに生活困窮者には滞納処分の執行停止等の処理を適切に行い、滞納者の減少に努めていきます。

(3) 主要施策の状況

主な投資的事業の内容は次のとおりです。

地域コミュニティの拠点施設整備として、天王本郷自治会館建設事業を2,752万5千円、和田妹川自治会館建設事業を2,909万8千円で実施しました。

鞍掛沼公園内の直売所建設事業（実施設計）を2,106万5千円で実施しました。また、完成後の出荷体制や運営体制の整備事業を158万7千円で実施しました。

追分地区の統合保育園（仮称・追分保育園）整備事業（実施設計）を1,952万7千円で実施しました。

市道の整備では、広域秋田五城目線整備事業9,585万1千円、追分下出戸線整備事業9,232万円など総額2億3,732万円で実施しました。

地域活性化・生活対策臨時交付金事業を2億8,471万2千円で、地域活性化・経済危機対策事業を3億7,775万2千円で実施し、道路や公園、教育施設、消防施設等の整備を実施しました。

主なソフト事業は以下のとおりです。

市内3箇所目となる地域子育て支援センターを昭和地区に開設しました。3箇所の運営費は2,104万2千円でした。

新型インフルエンザ予防接種事業は2,156万8千円、小児インフルエンザ予防接種事業は322万1千円でした。

妊婦健診の無料化を実施し、妊婦健診に係る事業費は1,486万4千円となりました。

緊急雇用創出臨時対策基金事業を3,259万6千円で実施しました。

定額給付金給付事業を5億4,891万5千円で実施しました。

子育て応援特別手当給付事業を1,600万円で実施しました。

財政健全化計画に基づく公的資金の補償金免除繰上償還（財政融資資金4件、2,389万8千円の繰上償還と日本郵政グループ資金7件、3億8,482万1千円の低利借換）実施し、将来の利子負担額7,077万2千円を軽減しました。

また、土地開発公社の償還金も1件594万円を繰上償還し、将来の利子負担額36万9千円を軽減しました。

2. 国民健康保険事業特別会計

平成21年度国民健康保険事業特別会計当初予算額は37億2,458万1千円で、その後補正増額され最終予算額は37億5,929万3千円となりました。

歳入決算額は38億6,827万8千円、歳出決算額は36億1,590万2千円、実質収支は2億5,237万6千円となりました。

歳入の主なものとしては、保険税が7億7,286万4千円で歳入全体の20.0%、国庫支出金が9億4,054万7千円で歳入全体の24.3%、療養給付費等交付金が2億3,184万3千円で歳入全体の6.0%、前期高齢者交付金が8億2,640万8千円で歳入全体の21.4%、共同事業交付金が4億6,269万5千円で歳入全体の12.0%となりました。

歳出の主なものとしては、保険給付費が総額23億9,359万6千円です。内訳としては、一般被保険者分が21億7,988万7千円、退職被保険者等分が1億9,398万3千円でした。

保険給付費では、疾病治療のため療養の給付を行ったほか、出産に際しては出産育児一時金672万円を、死亡に際しては葬祭費474万円を支給しました。

保健事業では、793万8千円のうち人間ドックを109人分、516万9千円で実施し、被保険者の健康意識の高揚に努めるとともに、疾病の早期発見・早期治療に努めました。

また、後期高齢者支援金等が4億770万5千円、介護納付金が1億6,648万7千円、共同事業拠出金が5億534万3千円となりました。

加入者及び医療費の状況としては、対前年比で世帯数が100世帯の減、被保険者数が102人の減となりました。一人当たりの医療費の状況は、一般被保険者分が314,996円で対前年比14,059円の増、退職被保険者等分が361,866円で対前年比57,999円の減です。

(1) 加入者の状況

イ. 年間平均世帯数 (単位：世帯)

区分	一般被保険者 単独世帯	混合世帯	退職被保険者 単独世帯	合計
平成21年度	4,623	156	306	5,085
平成20年度	4,686	167	332	5,185
増減	△ 63	△ 11	△ 26	△ 100

ロ. 年間平均被保険者数 (単位：人)

区分	一般被保険者	退職被保険者	合計
平成21年度	8,560	679	9,239
平成20年度	8,578	763	9,341
増減	△ 18	△ 84	△ 102

(2) 保険税の状況

一世帯当たり及び一人当たり保険税 (単位：円)

区分	収入額	一世帯当たり 金額	被保険者一人 当たり金額
平成21年度	699,777,815	137,616	75,742
平成20年度	693,064,048	133,667	74,196
増減	6,713,767	3,949	1,546

(3) 医療費の状況

イ. 一般被保険者分 (単位：円)

区分	療養給付費 費用額	療養費 費用額	総医療費	一人当たり 医療費
平成21年度	2,664,851,609	31,510,560	2,696,362,169	314,996
平成20年度	2,550,843,798	30,596,308	2,581,440,106	300,937
増減	114,007,811	914,252	114,922,063	14,059

ロ. 退職被保険者等分 (単位：円)

区分	療養給付費 費用額	療養費 費用額	総医療費	一人当たり 医療費
平成21年度	243,909,032	1,798,095	245,707,127	361,866
平成20年度	316,773,938	3,583,107	320,357,045	419,865
増減	△ 72,864,906	△ 1,785,012	△ 74,649,918	△ 57,999

注) 療養給付費は入院・通院・歯科・調剤・訪問看護・施設療養費
療養費は整骨院・補装具等

3. 老人保健特別会計

平成21年度老人保健特別会計当初予算額は252万2千円で、その後補正増額され最終予算額は743万3千円となりました。

歳入決算額は835万4千円、歳出決算額は571万8千円、実質収支額は263万6千円となりました。

歳入の主なものは、国庫支出金で239万円です。

歳出の主なものは、諸支出金で491万2千円です。

4. 後期高齢者医療特別会計

平成21年度後期高齢者医療特別会計当初予算額は2億5,797万5千円で、その後補正減額され最終予算額は2億3,946万5千円となりました。

歳入決算額は2億4,052万3千円、歳出決算額は2億3,681万4千円、実質収支額は370万9千円となりました。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料が1億4,513万9千円で歳入全体の60.3%、一般会計繰入金が9,179万2千円で歳入全体の38.2%となりました。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が2億1,539万7千円で歳出全体の91.0%となりました。

(1) 対象者の状況

(単位：人、%)

区 分	人 口	被保険者数	加入率
平成21年度	34,997	4,364	12.5
平成20年度	35,326	4,082	11.6
前年度対比	△ 329	282	0.9

(2) 保険料の状況

(単位：円、%)

区 分	調 定 額			収 入 済 額		収 納 率
	総 額	普通徴収	特別徴収	総 額	普通徴収	普通徴収分
平成21年度	146,871,900	45,780,500	101,091,400	145,138,546	44,047,146	96.2
平成20年度	138,935,500	41,403,500	97,532,000	137,475,400	39,721,400	95.9
前年度対比	7,936,400	4,377,000	3,559,400	7,663,146	4,325,746	0.3

5. 介護保険事業特別会計

平成21年度介護保険事業特別会計当初予算額は保険事業勘定が25億6,397万8千円で、その後補正増額され最終予算額は26億2,095万9千円となりました。

歳入決算額は26億4,137万7千円、歳出決算額は25億4,270万9千円、実質収支額は9,866万8千円となりました。

歳入の主なものとしては、保険料が4億5,623万円で歳入全体の17.3%、国庫支出金が6億336万2千円で歳入全体の22.8%、支払基金交付金が7億709万1千円で歳入全体の26.8%、県支出金が3億7,000万1千円で歳入全体の14.0%、繰入金が4億3,953万8千円で歳入全体の16.6%となりました。

歳出の主なものは、保険給付費が23億6,948万8千円で歳出全体の93.2%、地域支援事業費が5,224万8千円で歳出全体の2.1%となりました。

保険給付費の内訳は、介護サービス等諸費が21億1,103万1千円で保険給付費全体の89.0%、介護予防サービス等諸費が7,792万7千円で保険給付費全体の3.3%、また、低所得者の利用者負担軽減措置としての特定入所者介護サービス等費は1億2,990万3千円で保険給付費全体の5.5%となりました。

また、地域支援事業費の内訳としましては、介護予防事業費が595万6千円、包括的支援事業・任意事業費が4,629万2千円となりました。

次に、介護サービス事業勘定の当初予算額は852万2千円で、その後補正増額され最終予算額は879万8千円となりました。

歳入決算額と歳出決算額は同額で、それぞれ850万5千円となりました。

歳入は、全て介護予防サービス計画費のサービス収入で、歳出は全て保険事業勘定への繰出金です。

(1) 加入者の状況

(単位:人)

区 分	第1号被保険者		第2号被保険者		合計	
	総数	内認定者数	総数	内認定者数	総数	内認定者数
平成21年度	8,679	1,643	12,730	48	21,409	1,691
平成20年度	8,591	1,599	12,761	50	21,352	1,649
増 減	88	44	△ 31	△ 2	57	42

(2) 保険料の状況

(単位:千円)

区 分	調定			収入済額		普通徴収分 収納率 (%)
	総額	普通徴収	特別徴収	総額	普通徴収	
平成21年度	462,228	40,712	421,516	454,855	33,339	81.9
平成20年度	407,508	43,746	363,762	401,089	37,327	85.3
増 減	54,720	△ 3,034	57,754	53,766	△ 3,988	△ 3.4

(3) サービス受給者の状況

(単位:千円)

区 分	居宅サービス	地域密着型 サービス	施設サービス				合計
			総数	老人福祉施設	老人保健施設	療養型医療	
平成21年度	9,876	1,184	3,798	1,991	1,807	0	14,858
平成20年度	9,599	1,021	3,930	2,033	1,897	0	13,529
増 減	277	163	△ 132	△ 42	△ 90	0	145

(4) 介護サービスの利用状況

イ. 介護・支援サービス給付費

(単位:千円)

区 分	訪問・通所	地域介護 (グループホームほか)	施設 (特養・老健)	特定入所 (食事負担分)	その他	合計	受給者一人 当たり給付費
平成21年度	959,401	276,352	953,204	129,903	50,628	2,369,488	160
平成20年度	855,602	226,264	941,738	122,515	42,626	2,188,745	151
増 減	103,799	50,088	11,466	7,388	8,002	180,743	9

ロ. 居宅介護(支援)サービス費内訳

(単位:千円)

区 分	訪問系	通所系	短期入所	その他	合計	受給者一人 当たり給付費
平成21年度	155,830	407,299	217,145	179,127	959,401	98
平成20年度	143,125	399,707	154,052	158,718	855,602	90
増 減	12,705	7,592	63,093	20,409	103,799	8

ハ. 地域密着型サービス費内訳

(単位:千円)

区 分	グループホーム	老人福祉施設	小規模多機能型	その他	合計	受給者一人 当たり給付費
平成21年度	154,500	77,739	41,010	3,103	276,352	234
平成20年度	142,412	61,850	18,997	3,005	226,264	222
増 減	12,088	15,889	22,013	98	50,088	12

ニ. 施設介護サービス費内訳

(単位:千円)

区 分	老人福祉施設	老人保健施設	療養型医療	合計	受給者一人 当たり給付費
平成21年度	477,997	475,207	0	953,204	251
平成20年度	470,820	470,918	0	941,738	240
増 減	7,177	4,289	0	11,466	11

6. 有線放送事業特別会計

平成21年度有線放送事業特別会計の当初予算額は4,167万1千円で、その後補正減額され最終予算額は3,744万1千円となりました。

歳入決算額は3,712万9千円、歳出決算額は3,662万7千円で、実質収支は50万2千円となりました。

歳入の主なものは、使用料及び手数料が1,688万3千円で歳入全体の45.5%、一般会計繰入金が1,981万4千円で歳入全体の53.4%となりました。

歳出の主なものは、業務費が444万4千円、公債費が1,885万5千円となりました。

(1) システム構成

- ・ 2局分散方式 (本部局－700回線、分散局－600回線)
(本部局、分散局間は光ケーブル)
- ・ ケーブル延長 32.8km (うち光ケーブル2.4km)
- ・ 自己柱 130本
- ・ 共架柱 (電力柱－791本、NTT柱－157本)

※特 徴

- a. 地区別 グループ別放送他、電話機からのページング放送
- b. キャッチホンサービス (フックボタン)
- c. 3者通話 (フックボタンと相手の番号)
- d. チャンネル放送 (5CH) [100HZ～10,000HZ]
(1CH-431 2CH-432 3CH-433 4CH-434 5CH-435)

(2) 使用料及び手数料

基本料金	月額	1,100円
度数料金	1回	5円
付加使用料	1台	400円
放送手数料 (広告放送)		
市内	3回	500円
市外	1回目	2,500円
	2回目以降	1,500円

*現在の通話回数利用状況 (1日1戸平均)0.97回
(昨年同期1.01回)

(3) 加入者の状況

(単位：戸)

区 分	戸 数	加入世帯数	加入率
平成21年度	1,503	1,105	73.5%
平成20年度	1,550	1,178	76.0%
前年度対比	△47	△73	△2.5%

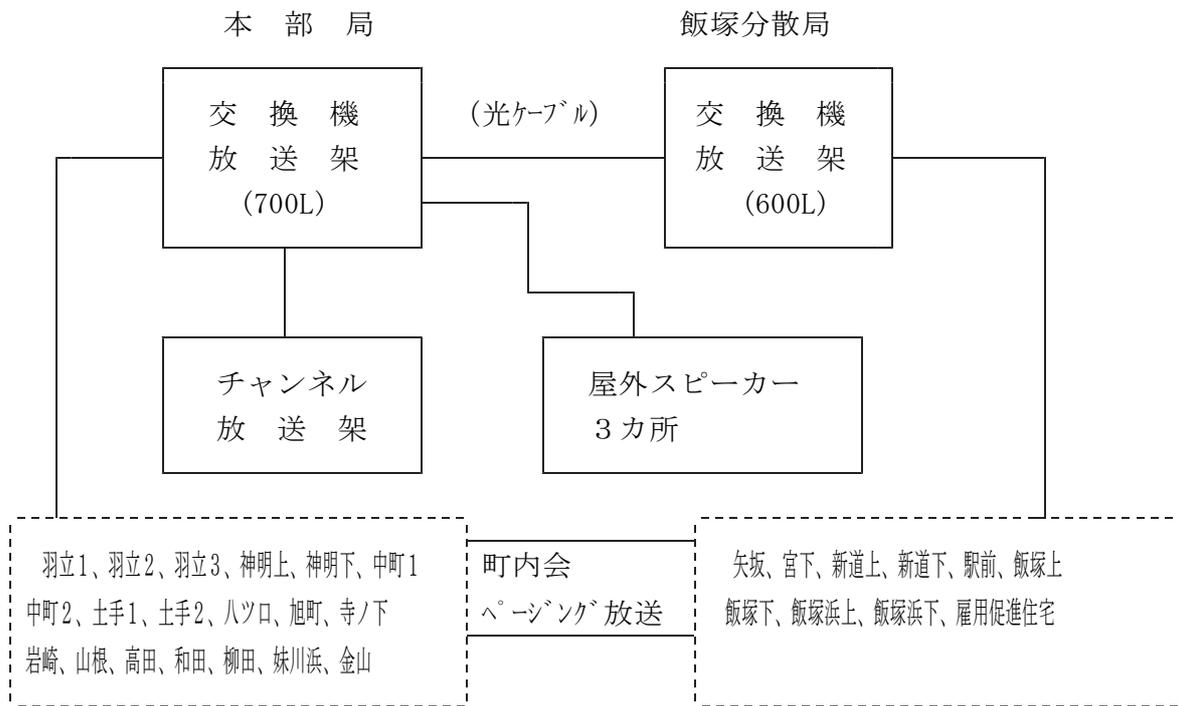
(4) 放 送 時 間

定 時 放 送	1日 4回
	朝 6時50分
	昼 12時30分
	3時 15時00分
	夜 18時45分

(5) 録音・案内設備 (テレフォンサービス)

(1) 毎日の放送を録音	3939番	(3回線)
(2) 録音番組 (CD情報)	0番	(3回線)
(3) 小学校だより	8番	(3回線)
(4) センターだより	8番	(3回線)
(5) 臨時のお知らせ	444番	(5回線)
(6) 農業指導センター情報	9番	(3回線)
合 計		20回線

(6) 線路系統図



@ グループページング放送システム

(7) 各施設の代表番号

湯上市 I P 電話への接続 市飯田川庁舎 保健福祉センター 介護支援センター J A 秋田湖東飯田川支所 八郎湯ハイツ 飯田川小学校 特別老人ホームわかば園 羽城中学校 昭和飯田川商工会	発信は 7 と I P 電話番号 I P 電話からは 9 1 と有線電話番号 1 1 4 番 5 0 0 0 番 1 1 1 番 1 1 2 番 1 1 6 番 3 9 0 0 番 2 1 7 1 番 5 6 7 8 番 2 1 8 1 番 2 0 9 1 番
---	--

(8) 携帯電話や固定電話からの接続

0 1 8 (8 7 7) 2 5 8 5 + 有線番号

7. 農業集落排水事業特別会計

平成21年度農業集落排水事業特別会計当初予算額は2億1,293万8千円で、その後補正減額され最終予算額は2億1,142万9千円となりました。

歳入決算額は2億1,191万5千円、歳出決算額は2億833万1千円で実質収支は358万4千円となりました。

歳入の主なものは、農業集落排水施設使用料が2,338万8千円で歳入全体の11.0%、一般会計繰入金が1億2,373万円で歳入全体の58.4%、借換債の発行などによる下水道債が5,740万円で歳入全体の27.1%となりました。

平成21年度末の加入戸数は715戸となっています。

また、公営企業経営健全化計画に基づく公的資金の補償金免除繰上償還を実施し、財政融資資金2件で総額5,140万8千円の繰上償還により、将来の利子負担額1,476万2千円を軽減しました。

(1) 集落排水事業整備の状況

区 分	総 面 積 ha	処理計画面積 ha	処理区域面積 ha	整 備 率 %
平成21年度	9,796	139	137	98.6
平成20年度	9,796	139	137	98.6
前年度対比				

区 分	総 人 口 人	処理計画人口 人	処理区域人口 人	普 及 率 %
平成21年度	34,997	4,550	2,934	8.4
平成20年度	35,326	4,550	2,981	8.4
前年度対比	△ 329		△ 47	

区 分	水 洗 化 人 口 人	水 洗 化 率 %	本 管 延 長 km	
平成21年度	2,361	78.8	32	
平成20年度	2,350	78.8	32	
前年度対比	11			

8. 下水道事業特別会計

平成21年度下水道事業特別会計当初予算額は21億8,269万7千円で、その後補正減額され最終予算額は21億6,406万9千円となりました。

歳入決算額は21億9,734万9千円、歳出決算額は21億4,454万円、歳入歳出差引額は、5,280万9千円で、平成22年度への繰越財源3千円を差し引いた実質収支は5,280万6千円となりました。

歳入の主なものは、下水道使用料が3億5,748万6千円で歳入全体の16.3%、一般会計繰入金が6億8,512万9千円で歳入全体の31.2%、下水道事業債が9億5,800万円で歳入全体の43.6%となりました。

歳出では、公共下水道事業として1億792万7千円で管渠1,067m、汚水枡67箇所を、特定環境保全下水道事業として3億3,970万9千円で管渠5,067m、汚水枡222箇所を施工しました。

平成21年度末の供用開始面積は、公共下水道と特定環境保全公共下水道の合計で1,102ha、下水道加入戸数は7,432戸となっています。

また、公営企業経営健全化計画に基づく公的資金の補償金免除繰上償還を実施し、財政融資資金17件、日本郵政グループ資金11件で総額5億8,848万1千円の繰上償還により、将来の利子負担額1億7,391万円を軽減しました。

(1) 下水道整備の状況

区 分	総 面 積 ha	処理計画面積 ha	処理区域面積 ha	整 備 率 %
平成21年度	9,796	1,542	1,102	71.5
平成20年度	9,796	1,542	1,076	69.8
前年度対比			26	1.7

区 分	総 人 口 人	処理計画人口 人	処理区域人口 人	普 及 率 %
平成21年度	34,997	33,000	29,070	83.1
平成20年度	35,326	33,000	28,648	81.1
前年度対比	△ 329		422	2.0

区 分	水 洗 化 人 口 人	水 洗 化 率 %	本 管 延 長 km	
平成21年度	22,324	76.8	202	
平成20年度	21,492	75.0	196	
前年度対比	832	1.8	6	

9. 合併処理浄化槽事業特別会計

平成21年度合併処理浄化槽事業特別会計当初予算額は、592万5千円で、その後補正増額され最終予算額は786万4千円となりました。

歳入決算額は694万8千円、歳出決算額は539万1千円で実質収支は155万7千円となりました。

歳入の主なものは、合併処理浄化槽施設使用料が298万円で歳入全体の42.9%、繰越金が335万4千円で歳入全体の48.3%となりました。

平成21年度末の合併浄化槽設置戸数は77戸となっています。

(1) 合併処理浄化槽事業整備の状況

区 分	総 人 口 人	処理計画人口 人	処理区域人口 人	普 及 率 %
平成21年度	34,997	715	216	0.6
平成20年度	35,326	718	216	0.6
前年度対比	△ 329	△ 3		0.0

区 分	水洗化人口 人	水洗化率 %
平成21年度	216	100.0
平成20年度	216	100.0
前年度対比		

10. 豊川財産区特別会計

平成21年度豊川財産区特別会計当初予算額は144万1千円で、その後補正増額され最終予算額は249万6千円となりました。

歳入決算額は356万円、歳出決算額は216万5千円で、実質収支は139万5千円となりました。

歳入の主なものは、財産売払収入が107万7千円で、内訳は立木売払収入が12万9千円、東北電力による立木補償金が89万8千円となりました。歳出の主なものは、間伐作業委託料95万6千円と財政調整基金積立金が105万6千円となりました。

11. 下虻川財産区特別会計

平成21年度下虻川財産区特別会計当初予算額は109万3千円で、その後補正増額され最終予算額は149万2千円となりました。

歳入決算額は148万9千円、歳出決算額は118万5千円で、実質収支は30万4千円となりました。

歳入の主なものは財産収入が108万9千円で、歳出の主なものは財政調整基金積立金が39万9千円となりました。

12. 和田妹川財産区特別会計

平成21年度和田妹川財産区特別会計当初予算額は51万円で、その後補正増額され最終予算額は86万8千円となりました。

歳入決算額は86万7千円、歳出決算額は54万9千円で、実質収支は31万8千円となりました。

歳入の主なものは基金繰入金が32万6千円で、歳出の主なものは財政調整基金積立金が35万8千円となりました。

13. 飯塚財産区特別会計

平成21年度飯塚財産区特別会計当初予算額は53万6千円で、その後補正増額され最終予算額は75万1千円となりました。

歳入決算額は74万9千円、歳出決算額は61万1千円で、実質収支は13万8千円となりました。

歳入の主なものは基金繰入金が27万1千円で、歳出の主なものは財政調整基金積立金が21万5千円となりました。

1 4. 土地取得事業特別会計

平成21年度土地取得事業特別会計当初予算額は1,255万3千円で、その後補正増額され最終予算額は3,134万3千円となりました。

歳入決算額は3,134万円、歳出決算額は3,133万8千円で、実質収支は2千円となりました。

歳入の主なものは一般会計繰入金で3,133万9千円で、歳出は土地開発公社償還金で3,133万8千円となりました。

1 5. 水道事業会計

(1) 給水状況

本年度末における給水戸数は10,377戸、給水人口は28,341人で、前年度末と比較して給水戸数は41戸増加し、給水人口は419人減少しました。なお、経営変更の認可に伴い、給水区域を拡大したため、普及率は給水区域内で82.2%となりました。年間総配水量は3,007,858 m^3 となり、一日最大配水量は9,741 m^3 、施設能力(12,735 m^3 /日)に対する最大稼働率は、76.5%となりました。

年間有収水量は2,579,954 m^3 で、有収率は85.8%となり前年度に比較して1.9ポイント減少しております。

(2) 工事状況

建設工事は、昭栄団地配水管布設替工事(延長430m)、堤の上地区配水管布設工事(延長43m)などを実施しています。

また、施設改良工事として、取水井戸の掘り抜き、ろ過機改修、計装設備の更新等を実施しました。

なお、建設改良費7,812,000円を平成22年度に繰り越しております。

(3) 財政状況

本年度の水道事業収益は535,457,208円、経常費用は485,511,078円、特別損失1,156,252円で48,789,878円の純利益が生じました。

また、資本的収支については収入額158,283,158円、支出額377,880,897円(消費税込)で、資本的収支の不足額219,597,739円は、過年度損益勘定留保資金50,617,884円、過年度繰延勘定償却8,753,702円、過年度損益修正損56,770円、過年度その他特別損失698,399円、過年度利益剰余金処分数額1,938,264円、当年度資本的収支調整額5,039,850円、当年度損益勘定留保資金152,492,870円で補てんしました。

昨年度に引き続き、過去に借り入れた高利率の企業債の公的資金補償金免除繰上償還を実施し、借換債を発行しました。

内訳は、財政融資資金2件83,335,695円を繰上償還し、借換債発行額は、83,300,000円となっております。

これにより、14,514,411円の金利負担が軽減されることになりました。

以上が本年度の概況であります。今後も適切な事業選択とより一層の経費の節減など効率的な事業経営に努めてまいります。